アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

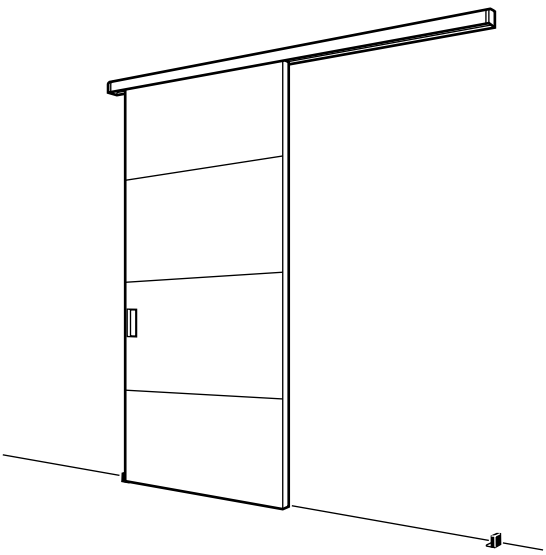
施工説明書

取扱説明書

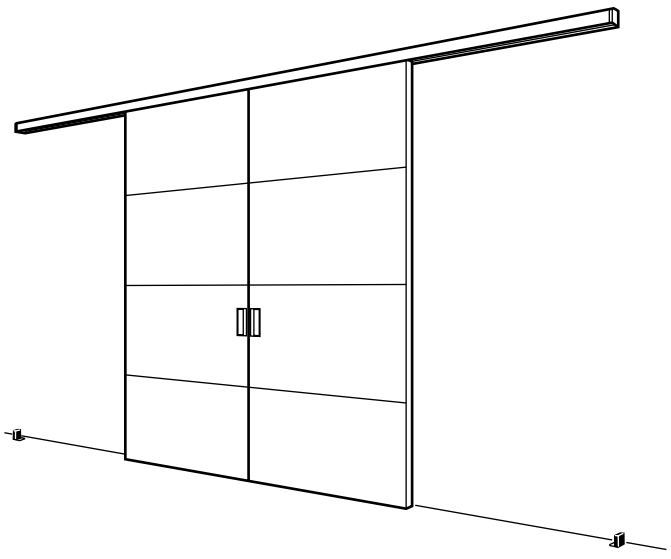
INOMA-V 開閉間仕切<引戸タイプ>

アウトセット

〈片引・引分〉



片　引



引　分

この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

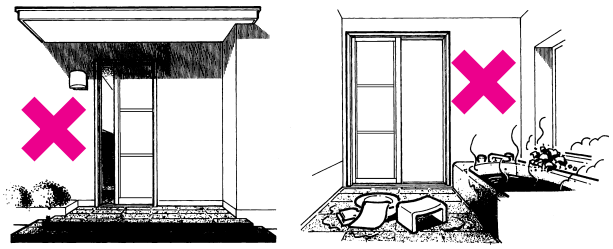
大建工業株式会社

必ずお守りいただきたいこと

⚠施工上注意

ダイケンイノーマV開閉間仕切を長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

●この吊戸は一般住宅用の室内用吊戸です。
室外や湿気の多い場所、また病院や施設等、不特定多数の方が使用される場所でのご使用はおやめください。



●扉が落下しないように、下記をお守りください。

——扉の荷重はすべて壁で支えますので、必ず間柱や、合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定できるように下地の配置をお願いします。

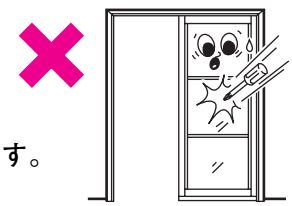
——レールは正しい位置に指定本数の指定ネジで確実に行ってください。

——レール端部のエンドカバーはキャッチと合わせて指定のビスで確実に固定してください。

●扉と壁とは20ミリ程のスキ間を設定していますので、造作材（出隅・無目枠）などでスキ間（5ミリ程まで）を調整して納めてください。

●扉・枠及び金具、採光部に工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。

——傷をつけるおそれがあります。



●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。
扉は平積み保管してください。また、ガイドピンと下部ストッパーは扉吊りこみまでの間に無くさないように保管してください。

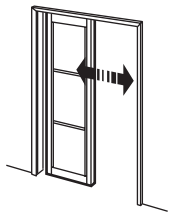
●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。

——熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

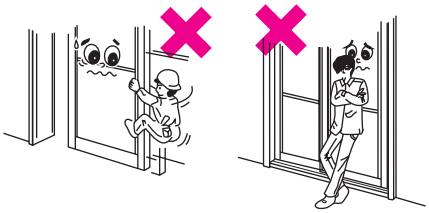
⚠使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

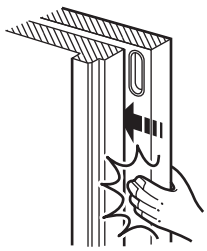
●扉の開閉は、静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあり



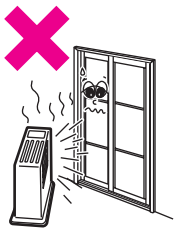
●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



●扉を開閉する際、指をはさまないよう、注意して操作してください。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



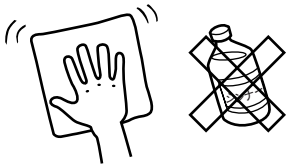
●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。



●採光部に強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
採光部が割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

お手入れの方法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。



’06. 12. 01

目　　次

必ずお守りいただきたいこと

製品寸法図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

部材・部品表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

施工手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3〜9

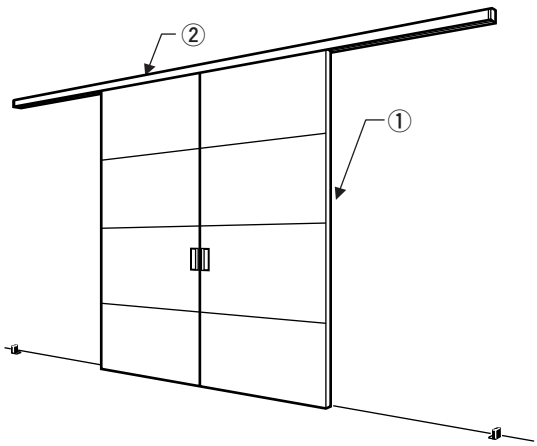
ホルムアルデヒド発散区分資料

INOMA-V 開閉間仕切 <引戸タイプ> アウトセット

F ☆☆☆☆（住宅部品表示ガイドラインによる）

この度はINOMA-V 開閉間仕切<引戸タイプ>をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表の様になっております。
建築確認の際に本資料をご利用ください。

製品の構成とホルムアルデヒド発散区分



規制対象外（F☆☆☆☆）

構成部位	内装仕上げ部分（表面）				下地部分（裏面・内面）		
	ホルムアルデヒド発散建築材料		発散区分	認定番号	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	認定番号
①ウッド扉	突板張MDF	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品	規制対象外(F☆☆☆☆)	K-001958	−		

規制対象外部位・告示対象外

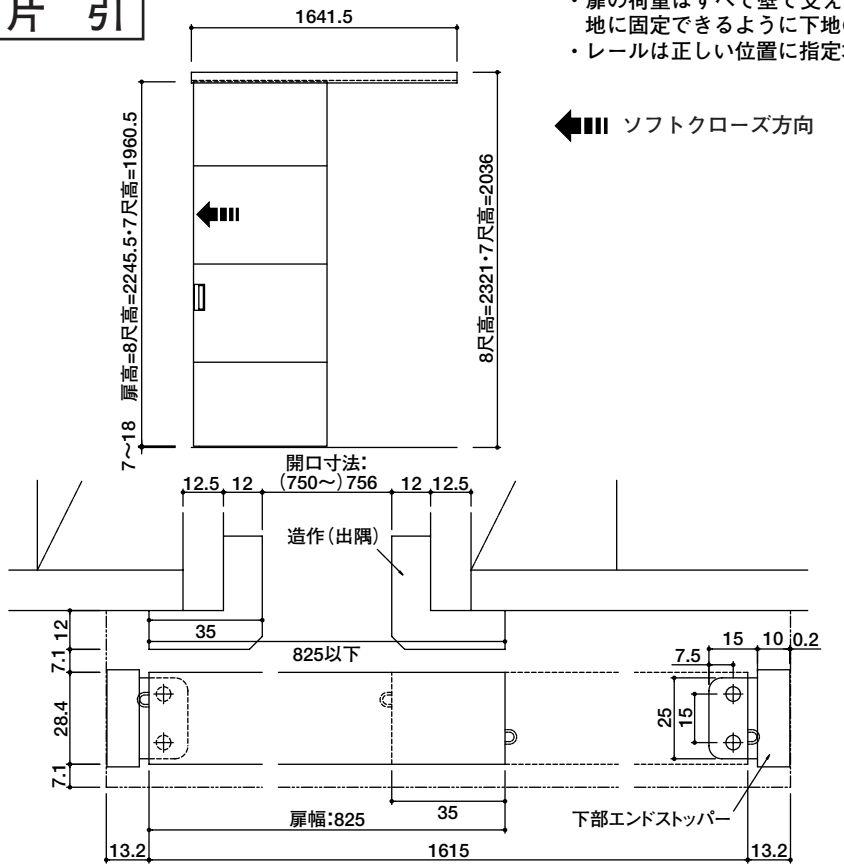
②スケルトン扉/吊車/レールほか	告示対象外

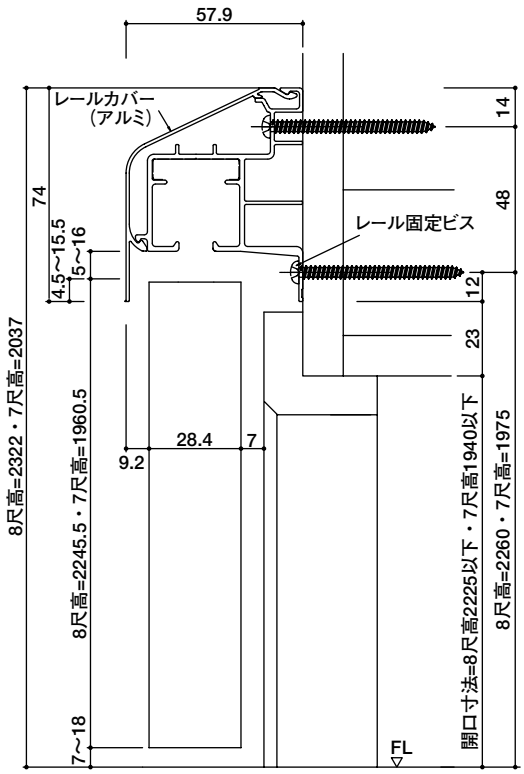
’06. 12. 01

製品寸法図

片　引

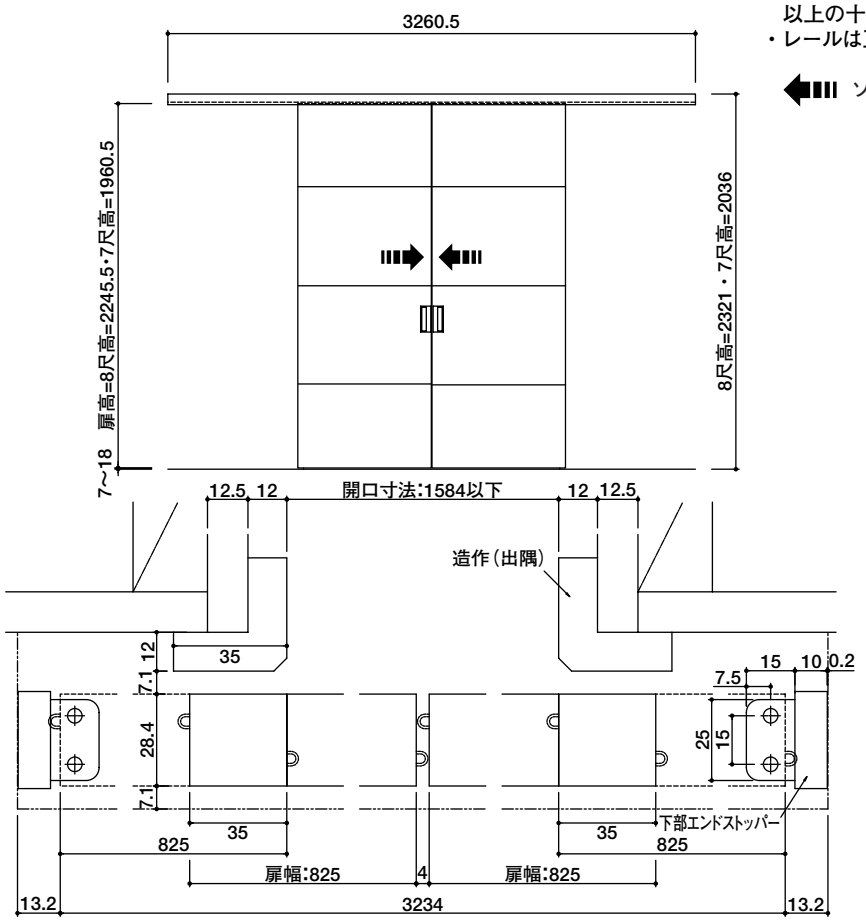
●扉が落下しないように、下記をお守りください。
・扉の荷重はすべて壁で支えますので、必ず間柱や、合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定できるように下地の配置をお願いします。
・レールは正しい位置に指定本数の指定ネジで確実に行ってください。

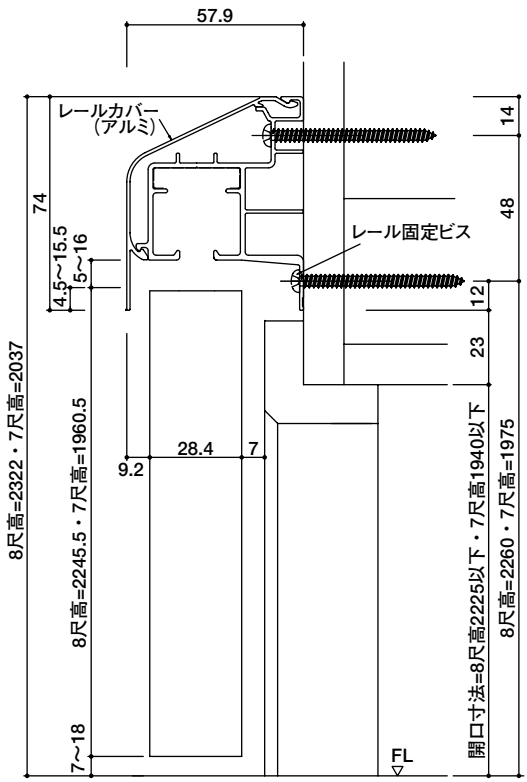




引　分

●扉が落下しないように、下記をお守りください。
・扉の荷重はすべて壁で支えますので、必ず間柱や、合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定できるように下地の配置をお願いします。
・レールは正しい位置に指定本数の指定ネジで確実に行ってください。

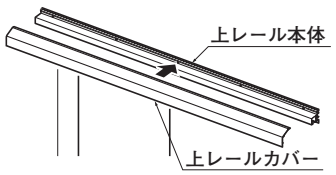
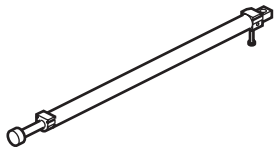
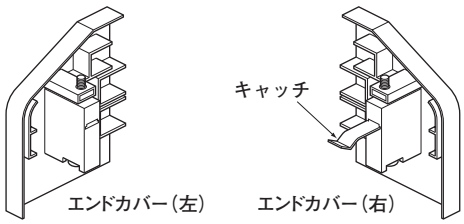
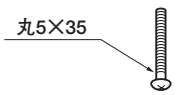
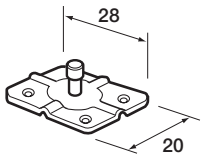
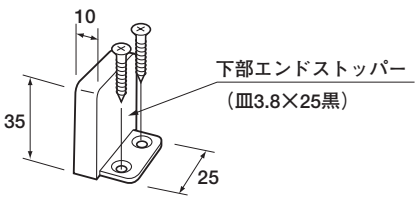




’06. 12. 01

部材・部品表

施工前に必ず部品を確認してください。

部品名称			幅 片引 1641.5	幅 引分 3260.5	備考
上レール本体	片引用	L=1637.5	1	—	
	引分用	L=3256.5	—	1	
上レールカバー	片引用	L=1637.5	1	—	
	引分用	L=3256.5	—	1	
同梱部品	レール固定ビス	ドリルビス4×45ナベ	10	18	
	吊車		1 set	2 set	
	ダンパー		1	2	
	エンドカバー		左右各1（片側キャッチ付）	左右各1（両側キャッチ付）	
	エンドカバー取付用ビス		2	2	
	ガイドピン		1	2	
	ガイドピン取付用ビス	皿φ3.1×20	4	8	
	下部エンドストッパー（黒）		2	2	
	下部エンドストッパー用ビス		4	4	
	施工／取扱説明書		1	1	必ずお施主様にお渡しください。

※扉（ウッド扉またはスケルトン扉）は別梱包（片引1枚／引分2枚）

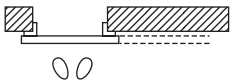
施工手順

1 開口部の準備

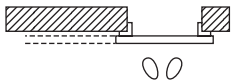
・開口部を下図・下表に従って準備してください。

・片引きの場合、扉の右引き、左引きを確認して開口部を準備してください。

（右図のように、扉を施工する側に立って扉が右に開くものが右引き、その逆が左引きとしています。）



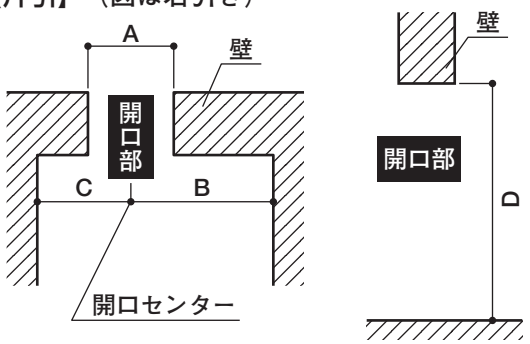
右引きタイプ



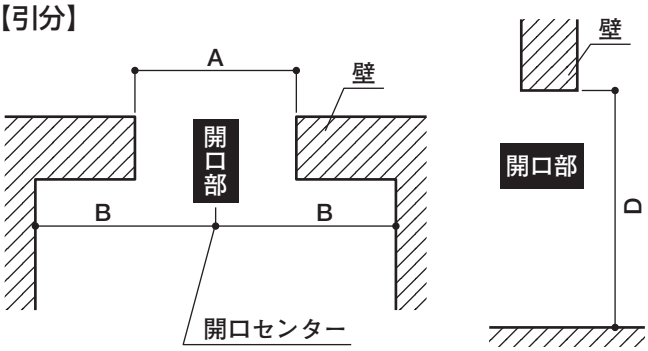
左引きタイプ

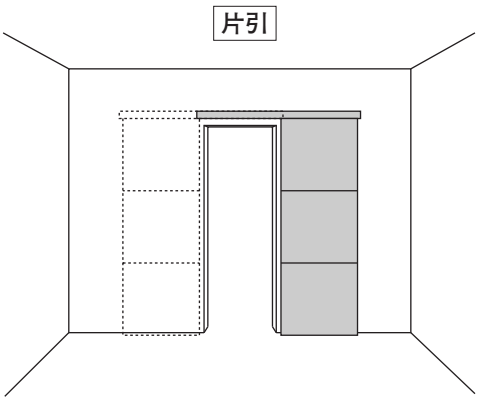
■取付け範囲

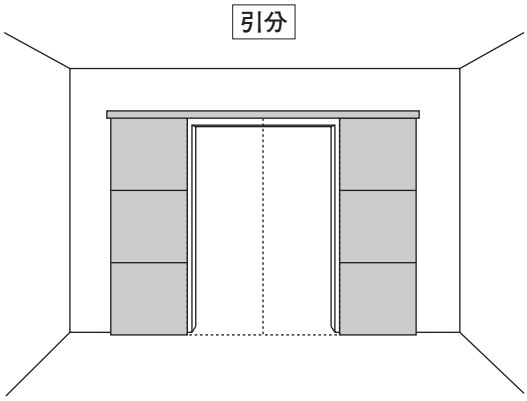
【片引】（図は右引き）



【引分】







	A（開口幅）	B（扉開閉方向）	C	D（開口高）
片引	枠内 750以上	1253以上	464以上	枠外 8尺高扉 2238以下
	枠外 825以下			枠外 7尺高扉 1953以下
引分	枠外 1654以下	1670以上	—	枠外 8尺高扉 2238以下
				枠外 7尺高扉 1953以下

※A寸法は造作部材の外内寸法で表記しています。
・片引の「枠内750以上」は裏からも引手に手が入る寸法です。
・枠外は上記寸法以下となっていますが、扉と壁とのチリが目立たない様に納める必要があります。

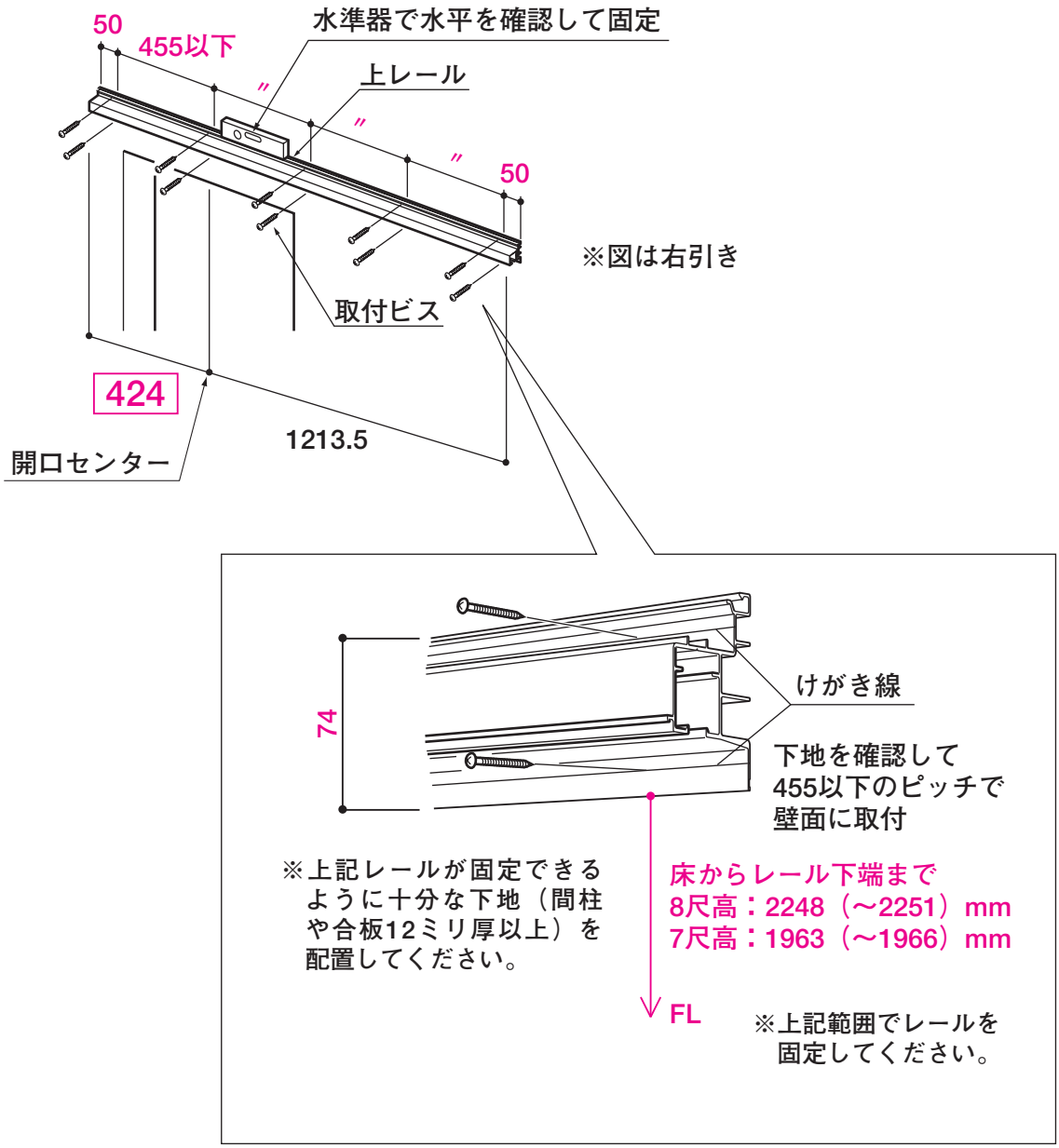
※B・C寸法はレールエンドカバーを横からはめるのに必要な寸法です。

2 レール本体の取付け

片引

①1も参照し、扉の開閉方向を確認した上で、レールの取付け方向を決めてください。
②レール下端を床から 8尺高 2248（～2251）mm　7尺高 1963（～1966）mm の位置に固定してください。水準器などを使いレールの水平を確認して固定してください。
※レール本体上下にある溝（けがき線）に沿って、レール端から50mm程度を基準とし、図のように中間部は455mmピッチ以下にて下地を確認し、固定してください。

⚠注意 荷重は全て壁で支えます。必ず間柱や合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定してください。下地が丈夫でないと、扉が落下しケガをする恐れがあります。

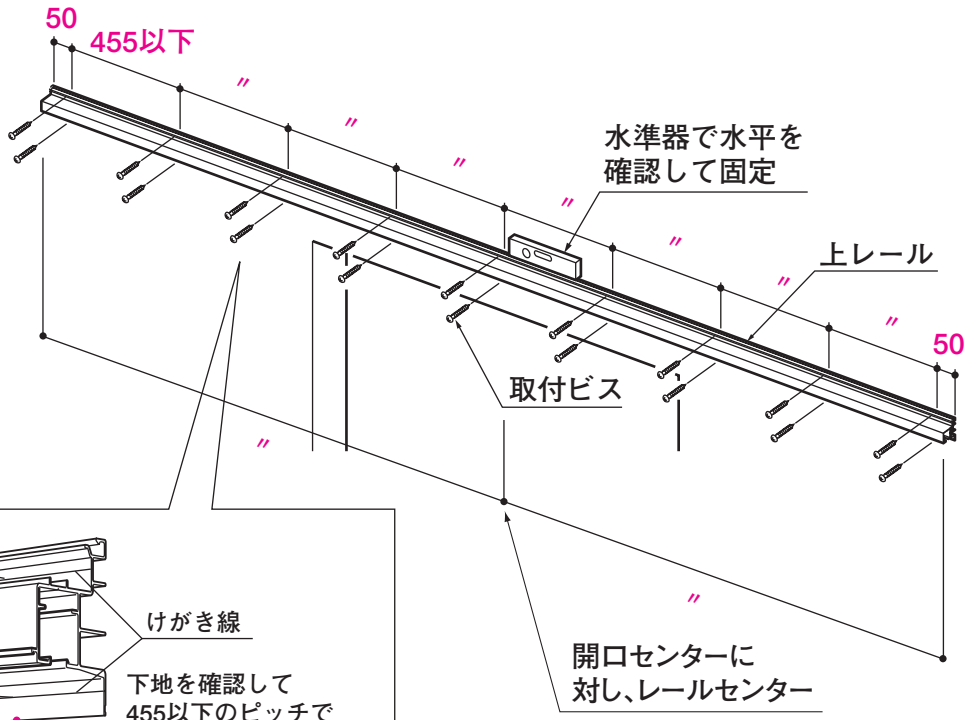


レール本体の取付け

引分

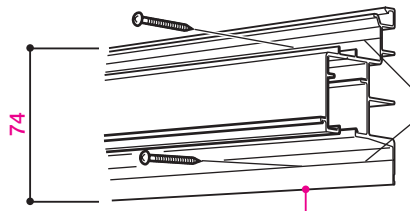
●レール下端を床から 8尺高 2248（〜2251）mm　7尺高 1963（〜1966）mm の位置に固定してください。水準器などを使いレールの水平を確認して固定してください。

※レール本体上下にある溝（けがき線）に沿って、レール端から50mm程度を基準とし、図のように中間部は455mmピッチ以下にて下地を確認し、固定してください。



⚠注意

荷重は全て壁で支えます。必ず間柱や合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定してください。下地が丈夫でないと、扉が落下しケガをする恐れがあります。



※上記レールが固定できるように十分な下地（間柱や合板12ミリ厚以上）を配置してください。

床からレール下端まで
8尺高：2248（〜2251）mm
7尺高：1963（〜1966）mm

FL

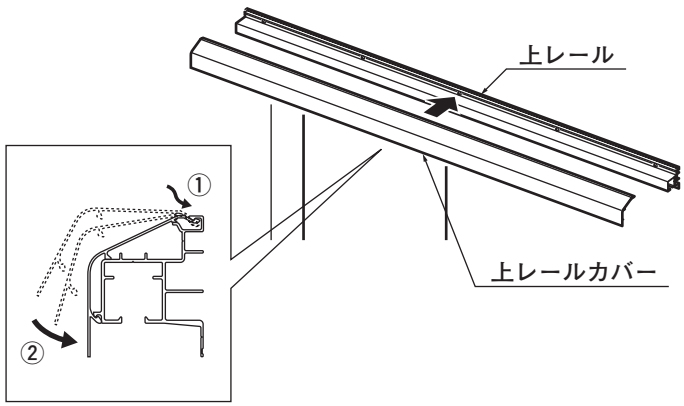
※上記範囲でレールを固定してください。

3 レールカバーの取付け

片引　引分

図のように上レールカバーを本体上の溝にはめて（①）から、下側（②）にはめこんで固定してください。
両端を本体と合わせてください。

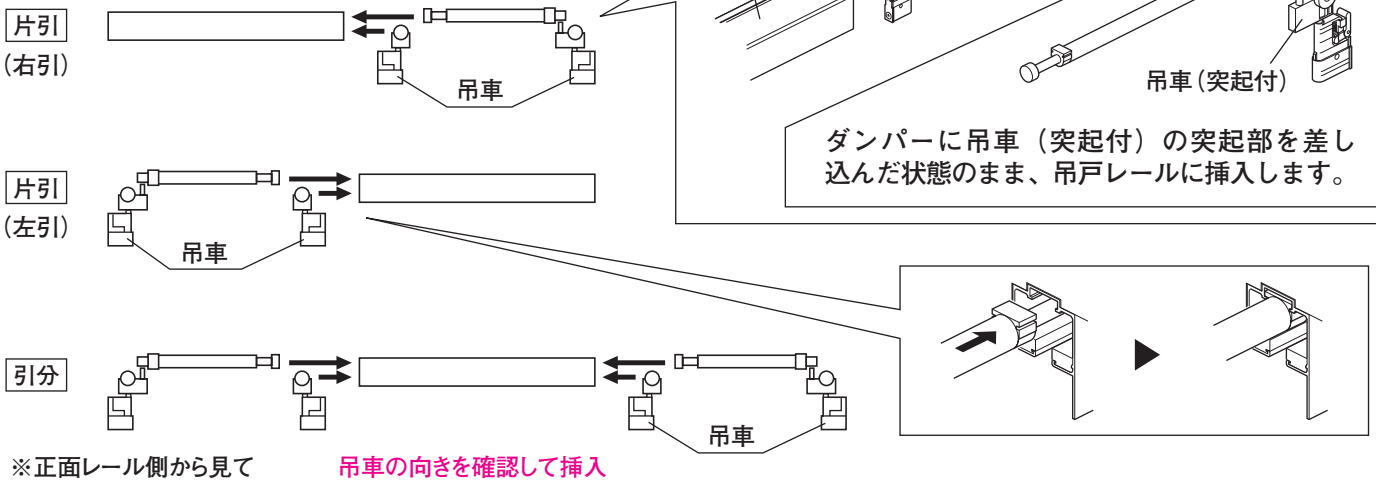
レールカバーの端から②を押すようにしてはめこんでいくと、比較的容易にはめこめます。



’06. 12. 01

4 吊車・キャッチの挿入

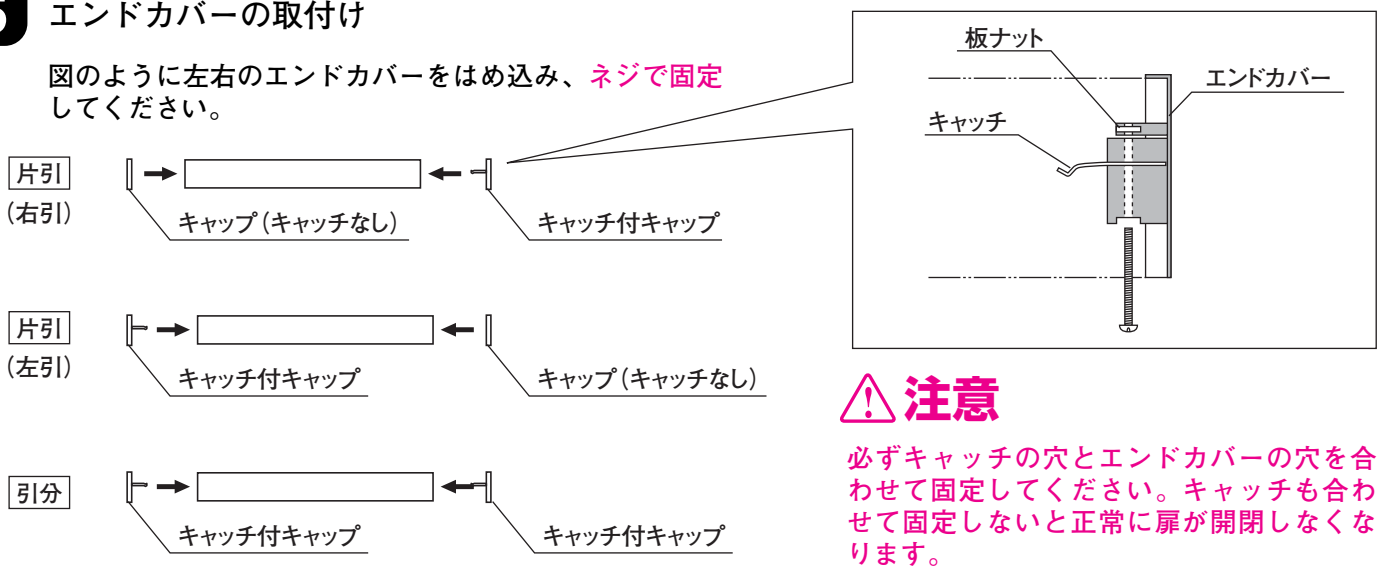
図のようにレールに吊車・キャッチを挿入してください。
※引分タイプの場合は、レール中央にストッパーがあるため、両側から挿入してください。



※正面レール側から見て　　吊車の向きを確認して挿入

5 エンドカバーの取付け

図のように左右のエンドカバーをはめ込み、ネジで固定してください。



⚠注意

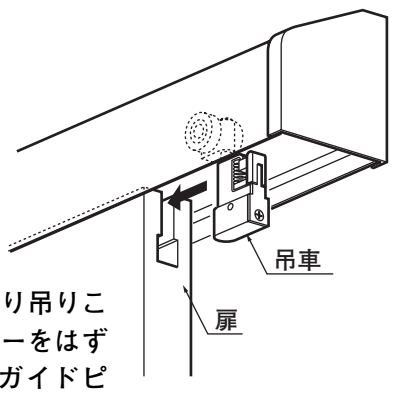
必ずキャッチの穴とエンドカバーの穴を合わせて固定してください。キャッチも合わせて固定しないと正常に扉が開閉しなくなります。

6 扉の吊りこみ・調整

①扉を吊りこんでください。

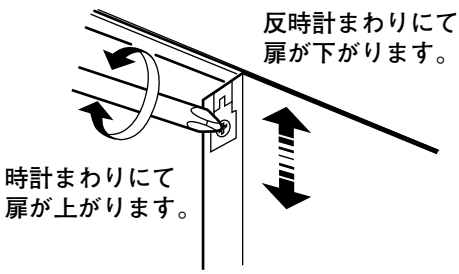
⚠注意

必ず吊車を完全にはめこんでください。



※扉がレールカバーにひっかかり吊りこめない場合は、いったんカバーをはずしてください。7 に従い、ガイドピンを取付けた後扉を吊りこみ、再度レールカバーをはめこんでください。

②吊車の調整ビスで扉と床のスキマを調整してください。（調整可能範囲 6 mm）



⚠注意

調整吊車で調整しきれない場合は再度レールの水平・高さを確認し手直ししてください。

7 ガイドピンを床に取り付けてください。

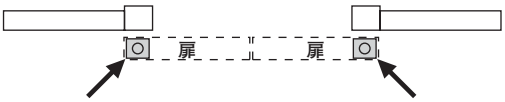
⚠ 注意 必ず扉の上下調整（6）をしっかり行ってから、ガイドピンを取り付けてください。

吊り込んだ扉を開けた状態で印を付けてから取り付けてください。

ガイドピンの取付け位置: →

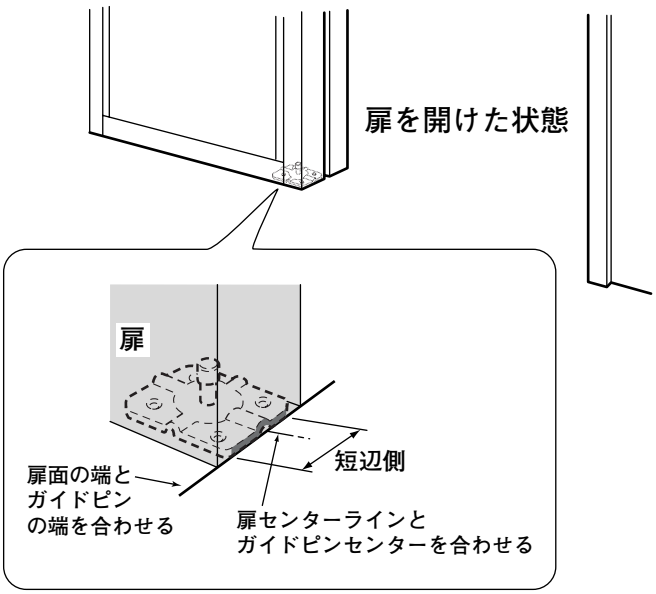
【片引】（図は右引き）

【引分】

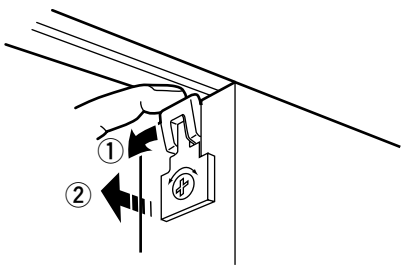


※扉はガイドピンを中心に扉巾分だけ左右にスライドします。

① ガイドピンの短辺側が扉面の端にそろうように位置を決めて印をつけてください。

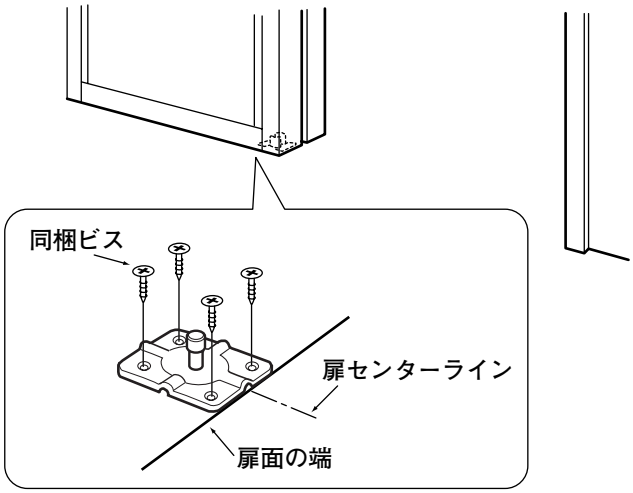


② 吊車をいったんはずし、扉をはずしてください。

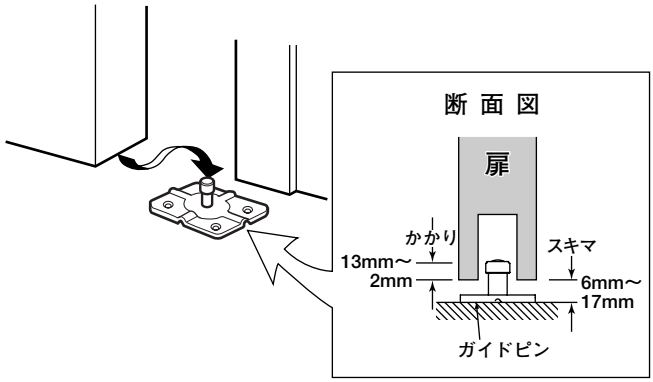


つまみを引っ張ればはずれます。

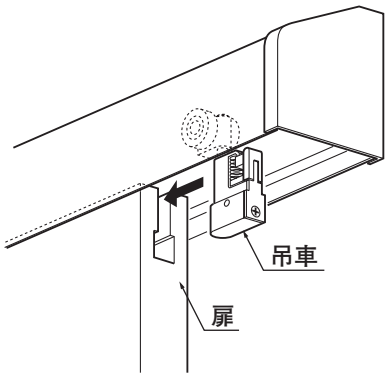
③ ガイドピンを同梱のビスで取付けてください。



④ 扉をガイドピンにはめこんでください。



⑤ 再び吊車をはめこむ。



⚠ 注意 引手が表紙の位置にくるように吊りこんでください。（ウッド扉の場合）

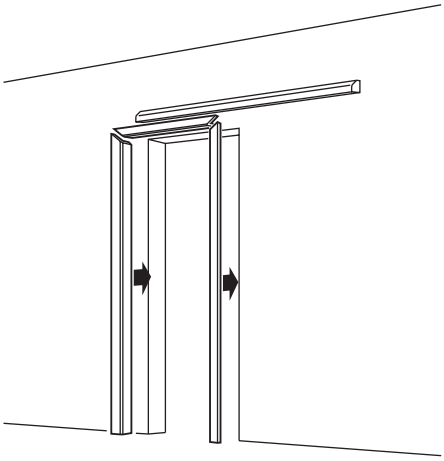
⑥ 扉を静かに開閉し、ガイドピンがガイド溝に触れないことを確認してください。

⚠ 扉を上げすぎるとガイドピンに扉がかからない恐れがあります。その場合は再度吊車で高さ調整してください。

'06. 12. 01

8 造作部材の取付け

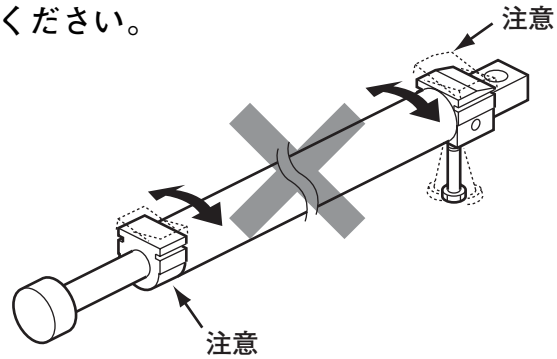
⚠注意 扉と壁とのチリは20ミリ程度あり、別途手配の造作材などでスキ間をかくす様に施工する必要があります。



製品寸法図 を参考に、造作部材で開口部を仕上げてください。
その際、以下内容を配慮ください。

・扉と造作材のスキ間　5〜8mm程度で納める
開口（仕上）寸法を守りながら扉端の壁とのスキ間をかくす様に納めてください。
・扉と開口部の重なり代を30mm以上確保しないと、スキ間が目立つようになります。
・造作横部材がレールと干渉しないようにしてください。

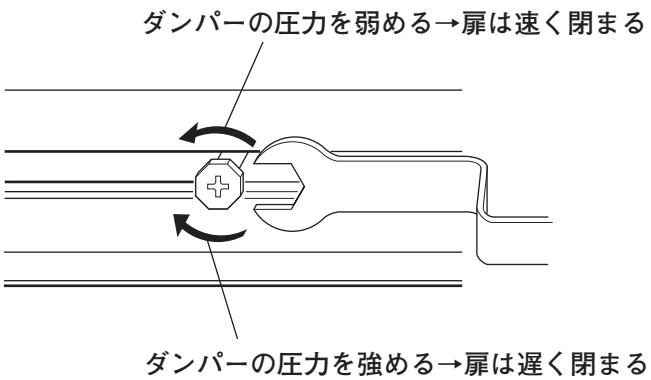
9 ダンパーのねじれに注意ください。



ダンパーの白い樹脂部分がねじれると、吊戸レールと擦れて走行不良の原因になりますので、取扱いに注意ください。
ねじれた場合は、水平になるように調整してください。

10 ダンパーの圧力を調整ください。

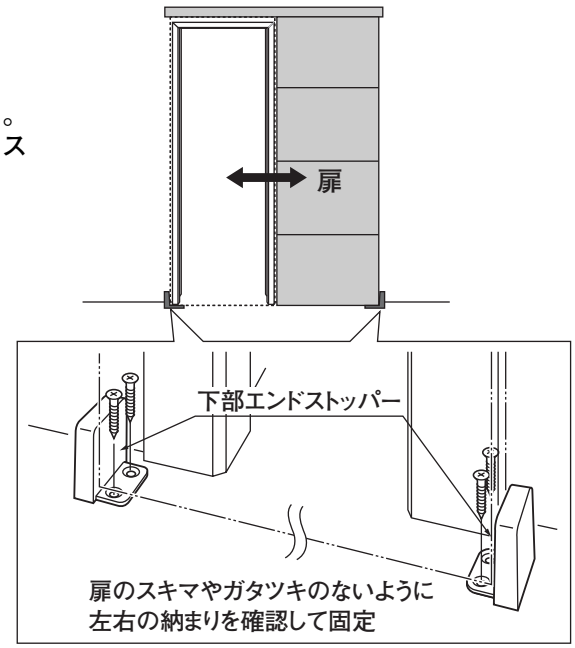
扉の閉まる速度は、ダンパー圧力で決まります。
ダンパーに付いているボルトを同梱のスパナで調整ください。



⚠注意 ダンパーの圧力が弱すぎる→扉にブレーキがかからなくなります。
ダンパーの圧力が強すぎる→扉が最後まで閉まらず止まってしまいます。

11 下部エンドストッパーの取付け

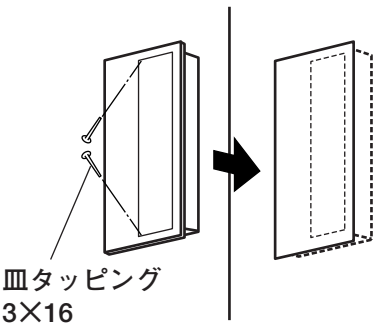
①扉を完全に開けた状態で扉の上下調整を再度確認してください。
②この状態で扉端が下部エンドストッパーに当たるように、ビス固定してください。



⚠注意

・ビス固定側は内々側に向けてください。
・扉ががたついたり、開ききらないよに固定してください。

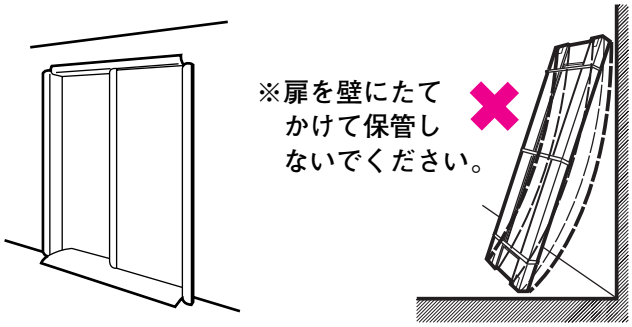
12 ウッド扉の場合は、扉に引手を取付けてください。（引手は別梱）



⚠注意

同梱の取付ビスでしっかり固定してください。
取付方向に注意ください。

13 工事が完成するまで扉・レール・造作材などをダンボールなどで養生してください。



ご相談窓口

ご不明な点などは、下記のご相談窓口までお問い合わせください。

本社大阪事務所	〒530-8210 大阪府大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ22F）	06-6452-6318
東京事務所	〒103-8425 東京都中央区日本橋本町2丁目7番1号（NOF日本橋本町ﾋﾞﾙ2F）	03-3249-4800
北海道営業部	〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通21丁目1番17号	011-856-2202
札幌営業所	〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通21丁目1番17号	011-856-2202
帯広営業所	〒080-0010 北海道帯広市大通南16-12-1（センターシティ5 1F）	0155-25-8421
旭川営業所	〒070-0031 北海道旭川市1条通10丁目右7号（ﾀｶｸﾜｸﾞﾚｰｽﾋﾞﾙ1F）	0166-24-1377
東北営業部	〒982-0031 宮城県仙台市太白区泉崎1丁目34－8	022-243-6621
盛岡営業所	〒020-0866 盛岡市本宮1丁目31－1	019-636-1161
仙台営業所	〒982-0031 宮城県仙台市太白区泉崎1丁目34－8	022-243-6621
青森営業所	〒030-0113 青森県青森市第二問屋町1丁目3番6	017-729-2201
秋田営業所	〒010-0951 秋田県秋田市山王6－11－7（ﾚｼﾞﾃﾞﾝｽこまち1F）	018-862-4441
郡山営業所	〒963-0111 福島県郡山市安積町荒井字河葉池38－1（第2あさいﾋﾞﾙ）	024-946-7211
山形営業所	〒990-0023 山形県山形市松波1丁目15-31（アビタシオンⅡ 1F）	023-632-2711
関東第1営業部	〒321-0967 栃木県宇都宮市錦3丁目6番20号	028-621-6431
宇都宮営業所	〒321-0967 栃木県宇都宮市錦3丁目6番20号	028-621-6431
水戸営業所	〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1160－17（ｸﾞﾚｰｽﾋﾙｽﾞﾏﾝｼｮﾝ1F）	029-248-8511
つくば営業所	〒305-0005 茨城県つくば市天久保2－21－3	029-849-2344
群馬営業所	〒370-0073 群馬県高崎市緑町1－11－3	027-364-9811
関東第2営業部	〒381-0022 長野県長野市大字大豆島4177－3	026-222-6311
新潟営業所	〒950-0993 新潟県新潟市上所中1丁目13番8号	025-285-5887
長野営業所	〒381-0022 長野県長野市大字大豆島4177－3	026-222-6311
長岡営業所	〒940-0086 新潟県長岡市西千手1丁目11番31号	0258-33-5734
松本営業所	〒390-0852 長野県松本市島立647-2（山田ビル2F）	0263-40-0370
東京営業部	〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目5番25号（西新宿木村屋ﾋﾞﾙ1F）	03-5386-5957
東京営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目5番25号（西新宿木村屋ﾋﾞﾙ1F）	03-5386-5957
多摩営業所	〒185-0003 東京都国分寺市戸倉2－27－6	042-571-3434
山梨営業所	〒409-3866 山梨県中巨摩郡昭和町西条3801－1	055-275-7931
埼玉営業所	〒331-0814 埼玉県さいたま市北区東大成町1－548－1（ｶｯｺﾝさいたまﾋﾞﾙ4F）	048-669-0660
熊谷営業所	〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波1丁目14番1号（岩伸ﾋﾞﾙ2F）	048-527-5601
千葉営業所	〒260-0045 千葉県千葉市中央区弁天1丁目32番8号（KTﾋﾞﾙ2F）	043-287-8491
我孫子営業所	〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子1丁目4番3号（石井ﾋﾞﾙ1F）	04-7183-4070
横浜営業部	〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場町808－2	045-983-2332
横浜営業所	〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場町808－2	045-983-2332
静岡営業所	〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬渕4丁目2番地25号	054-288-3881
厚木営業所	〒243-0018 神奈川県厚木市中町4丁目8番1号（酒井ﾋﾞﾙ3F）	046-222-1535
中京営業部	〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目3番3号（AMMNATﾋﾞﾙ14F）	052-205-5811
名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目3番3号（AMMNATﾋﾞﾙ14F）	052-205-5811
三重営業所	〒514-0004 三重県津市栄町4丁目174	059-226-7073
浜松営業所	〒430-0939 静岡県浜松市連尺町370-14（EME浜松ビル7F）	053-458-5751
岐阜営業所	〒501-6002 岐阜県羽島郡岐南町三宅9丁目123－1（NTﾋﾞﾙ1F）	058-246-6752
三河営業所	〒444-0044 愛知県岡崎市康生通南3丁目11番地（ｱｸｻ岡崎ﾋﾞﾙ6F）	0564-65-8681
北陸営業部	〒920-0024 石川県金沢市西念1丁目2番11号	076-262-3211
金沢営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念1丁目2番11号	076-262-3211
北陸特販営業所	〒920-0024 石川県金沢市西念1丁目2番11号	076-262-3211
富山営業所	〒939-8205 富山県富山市新根塚町2－10－11	076-425-5575
福井営業所	〒918-8231 福井県福井市問屋3丁目501番地	0776-26-8508
近畿営業部	〒538-0035 大阪府大阪市鶴見区浜4丁目19番3号	06-6915-7002
大阪営業所	〒538-0035 大阪府大阪市鶴見区浜4丁目19番3号	06-6915-7041
京都営業所	〒600-8107 京都府京都市下京区五条通室町西入ル東錺屋町173番地（高橋第6ﾋﾞﾙ5F）	075-341-8151
兵庫営業所	〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通2丁目1番2号（共栄ﾋﾞﾙ3F）	078-321-1822
和歌山営業所	〒640-8323 和歌山県和歌山市太田421－2（OEﾋﾞﾙ3F）	073-473-8090
沖縄営業所	〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖2丁目1番地2号（ﾀﾊﾞﾋﾞﾙ1F）	098-879-4916
中国営業部	〒734-0014 広島市南区宇品西4丁目1－36	082-505-2525
岡山営業所	〒702-8045 岡山県岡山市海岸通2丁目5番8号	086-262-2271
広島営業所	〒734-0014 広島市南区宇品西4丁目1－36	082-505-2525
福山営業所	〒720-0067 広島県福山市西町2丁目10番1号（福山商工会議所ビル4F）	084-924-7196
山口営業所	〒754-0014 山口県山口市小郡高砂町3番26号（ﾅｶﾞｵﾋﾞﾙ402号）	083-974-0303
四国営業部	〒760-0079 香川県高松市松縄町49－12	087-866-8500
高松営業所	〒760-0079 香川県高松市松縄町49－12	087-866-8500
松山営業所	〒790-0053 愛媛県松山市竹原2丁目1-33（サンライト竹原102号）	089-945-8569
徳島営業所	〒770-0847 徳島県徳島市幸町2－19（妙見ﾋﾞﾙ2F）	088-622-6261
高知営業所	〒780-0072 高知県高知市杉井流37番6	088-885-6202
九州営業部	〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1丁目4番32号	092-413-2345
福岡営業所	〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1丁目4番32号	092-413-2345
北九州営業所	〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目18番15号（MOビル405号）	093-522-1224
長崎営業所	〒854-0061 長崎県諫早市宇都町5－30（向井不動産ﾋﾞﾙ102号）	0957-25-1160
大分営業所	〒870-0025 大分県大分市顕徳町3丁目1－16（ｱｸｾｽ21 116号）	097-533-8701
熊本営業所	〒862-0950 熊本県熊本市水前寺1丁目20番22号（水前寺ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ5F）	096-384-1222
宮崎営業所	〒880-0879 宮崎県宮崎市宮崎駅東三丁目6番地14	0985-26-5908
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町21番地4（ｻﾝｸﾁｭｱﾘｰ上之園1F）	099-254-8300
住機製品事業部（東京）	〒103-8425 東京都中央区日本橋本町2丁目7番1号（NOF日本橋本町ビル2F）	03-3249-4803
住機製品事業部（大阪）	〒530-8210 大阪府大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ21F）	06-6452-6144
東部特販部	〒103-8425 東京都中央区日本橋本町2丁目7番1号（NOF日本橋本町ビル2F）	03-3249-4850
西部特販部	〒530-8210 大阪府大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ21F）	06-6452-6231
東部リモデル営業部	〒103-8425 東京都中央区日本橋本町2丁目7番1号（NOF日本橋本町ビル2F）	03-3249-4925
西部リモデル営業所	〒530-8210 大阪府大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ21F）	06-6452-6171

'06. 11現在

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス
http://www.daiken.jp/

製品のお問い合わせ・ご相談は 0120-787-505
※携帯・PHSからはTEL.06-6452-6000へ
受付時間:平日9:00～17:00（土・日・祝・年末年始・お盆は休み）

'06. 12. 01